

1. 職名・氏名 助教・木村 多佳子
2. 学位 学位 修士、専門分野 社会福祉学、授与機関 関西学院大学、
授与年月 1996年3月
3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会保障・社会福祉概説（2単位 毎年開講） 1年生 （2017年度以前～2019年度） オムニバス講義	
② 内容・ねらい 内容－社会保障・社会福祉の基本的なしくみ、考え方、目的について解説し、それらに関わる専門職の役割について紹介する講義。 ねらい－（1）日本の社会保障・社会福祉の全体像を体系的に把握させる。 （2）保健医療・福祉に携わる専門職種間の連携と共同の必要性・重要性を理解させる。 （3）個人と制度的集団の関係を社会保障・社会福祉の方法によってとらえ、その学びを学生自身の職業と人生に活用させる。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 看護学科 1年生必修科目であるため、将来看護師として多職種チームで活躍することの重要性を伝える努力を行っている。主に、医療ソーシャルワーカー（MSW）の役割と業務内容を配付資料とパワーポイントによって解説し、職種間理解の促進をめざしている。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 保健医療サービス（2単位 毎年開講） 3年生 （2017年度以前～2019年度）	
② 内容・ねらい 内容－保健医療サービスの概要と医療ソーシャルワーカーの業務および役割に関する講義。 ねらい－（1）保健医療分野でのソーシャルワーク実践において必要となる医療保険制度や保健医療サービスに関する知識を体得させる。 （2）医療ソーシャルワーカーの役割と他の専門職との協働について理解させる。 （3）医療をめぐる諸問題に関心を持たせ、利用者のニーズに気づく洞察力を養う。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 指定テキストとともに配付資料およびパワーポイントによる講義を行っている。国家試験出題範囲のみならず、医療ソーシャルワーク分野の事例検討を取り入れ、医療機関でのソーシャルワーク実習や精神保健ソーシャルワーク実習の事前学習につながる講義内容を展開している。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ソーシャルワーク演習Ⅱ（2単位 毎年開講） 3年生 （2017年度以前～2019年度） オムニバス講義	

<p>② 内容・ねらい 内容－基本的面接技術のロールプレイ、社会福祉および医療現場での事例検討など援助技術の訓練を行う演習。 ねらい－（１）ソーシャルワーク実習で必要となる基本的面接技術を体得させる。 （２）事例を通して、利用者理解と同時にアセスメント、プランニング等の支援プロセスを理解させる。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ケースメソッドにより、救急医療現場での事例を段階的に示し、入院時の初回面接から退院支援までのプロセスについてのロールプレイを体験させる。また、クラスへの参加態度や理解の様子から気づいた点を「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」に生かすよう心がけている。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ソーシャルワーク実習（４単位 毎年開講） ３年生 （２０１７年度以前～２０１９年度）</p>
<p>② 内容・ねらい 内容－社会福祉士国家試験受験資格を目的とした社会福祉施設・機関および医療機関での現場実習。 ねらい－（１）社会福祉士としての必要な知識・技術・価値および関連知識への理解を深め、社会福祉サービスの利用者和社会福祉士の援助の実際を学ぶことにより、社会福祉士としての実践力を向上させる。 （２）実習での具体的な体験・活動を通して、総合的に対応できる能力を習得させる。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 担当教員によるソーシャルワーク実習会議（月１回定例）に出席し、情報共有に努めている。実習先配属作業や実習関係者会議およびソーシャルワーク実習報告会の行事運営に協力し、現場実習指導者との関係形成にも積極的に取り組んでいる。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（１単位 毎年開講） ３年生 （２０１７年度以前～２０１９年度）</p>
<p>② 内容・ねらい 内容－ソーシャルワーク実習を履修するための事前学習、実習期間中の巡回指導および帰校日指導、そして実習終了後の事後指導を行う。 ねらい－社会福祉士として必要な知識・技術・価値および関連知識への理解を深め、社会福祉サービスの利用者和社会福祉士の援助の実際を学ぶことにより、社会福祉士としての実践力を向上させる。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 配属先決定後のクラスでは、クラス指導と個別指導を組み合わせながら、事前学習や実習計画書作成、実習中の帰校日および実習後のスーパービジョンを実施している。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（１単位 毎年開講） ２年生 （２０１７年度以前～２０１９年度）</p>
<p>② 内容・ねらい 内容－ソーシャルワーク実習を履修するための事前学習を講義および見学実習によって行い、次年度「ソーシャルワーク実習」配属先を決定する。 ねらい－社会福祉士として必要な知識・技術・価値および関連知識を確認し、「ソーシャルワーク実習」に耐え得る専門的な力量を備える。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 配属先決定に関しては学生を個別に把握することが必要となるため、見学実習での様子や事後学習での発言に注意を払い、実習配属前の個別対応を担当している。</p>

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 基礎演習 (2 単位 毎年開講) 2 年生 (2017 年度以前～2019 年度)
② 内容・ねらい 内容－「生活者」と「多文化共生社会」をキーワードに学習とグループ討議を重ね、社会福祉学を学ぶ学生自身の興味や関心をさらに掘り下げる力を養う演習。 ねらい－ (1) ゼミ運営の役割 (司会、発表者、討論メンバー、企画提案) を学生が経験し、自発的に学ぶ面白さに気づく。 (2) 情報収集→考察→発表・報告→討論→再考というプロセスを体得させる。 (3) 学生が自身の研究的興味や関心およびテーマを持てるようになる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 文献講読、資料検索や発表、討論を行いながら、学生自身が個別研究発表する力をつけるための演習を展開している。また、福祉施設・機関、矯正施設の見学等を通じて、3 年次以降の実習や卒業後のキャリア選択に関心がもてるような取り組みを行っている。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 卒業研究 (4 単位 毎年開講) 4 年生 (2017 年度～2019 年度)
② 内容・ねらい 内容－各自の研究テーマについて研究し、論文を作成するための指導。 ねらい－これまで学んできた社会福祉学のまとめとして、自ら選んだテーマに沿って自主的に研究を進め、より充実した卒業研究の作成を目指す。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 研究計画の立案と研究方法についてはグループ指導を行い、各自のテーマに応じた文献検索やアウトラインおよび論文作成については個別の指導を重ねている。文献の引用や研究協力者への倫理的配慮といった研究者としての姿勢を重視した指導を行っている。
(2)非常勤講師担当科目
① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 相談援助実習 日本放送協会 (NHK) 学園 社会福祉士養成課程 (2017 年度以前～2019 年度)
② 内容・ねらい 内容－社会福祉士国家試験受験資格を目的とした社会福祉施設・機関および医療機関での現場実習を行うための事前学習と実習期間中の巡回指導を年数回担当する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 通信制で学ぶ学生の実習計画書作成指導を電子メールと電話で行うため、学生が実習課題を具体的に言語化できることを意識した添削指導を行っている。また巡回指導時には、学生と現場実習指導者間の調整を果たすよう努力している。
④ 本学における業務との関連性 本学のソーシャルワーク実習指導に該当する科目であるため、実習計画立案時の指導方法や、実習中スーパービジョンの技術を高めたいと考えている。
① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 相談援助実習指導 学校法人瓶井学園 日本メディカル福祉専門学校 社会福祉士科通信課程 (2017 年度)
② 内容・ねらい 内容－社会福祉士国家試験受験資格を目的とした社会福祉施設・機関および医療機関での現場実習期間中の巡回指導を年数回担当する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 通信制で学ぶ学生の実習指導時には、学生と現場実習指導者間の調整を果たすよう努力

している。
④ 本学における業務との関連性 本学のソーシャルワーク実習指導Ⅱに該当する科目であるため、実習中スーパービジョンの技術を高めたいと考えている。
① 担当科目名（単位数） 開講学校名 精神保健福祉援助実習 学校法人瓶井学園 日本メディカル福祉専門学校 精神保健福祉士通信課程 （2018年度～2019年度）
② 内容・ねらい 内容－精神保健福祉士国家試験受験資格を目的とした社会福祉施設・機関および医療機関での現場実習期間中の巡回指導を年数回担当する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 通信制で学ぶ学生の巡回指導時には、学生と現場実習指導者間の調整を果たすよう努力している。
④ 本学における業務との関連性 本学のソーシャルワーク実習と同等の科目であるため、実習中スーパービジョンの技術を高めたいと考えている。
① 担当科目名（単位数） 開講学校名 社会福祉論（2単位 毎年開講） 仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 （2017年度以前～2019年度）
② 内容・ねらい 内容－「健康」と「幸せ」につながる社会福祉の理念や法制度についての講義と、栄養士・管理栄養士に必要とされる社会福祉の基礎知識に関する解説。 ねらい－栄養士・管理栄養士が保健医療福祉および教育分野で連携する社会福祉専門職の業務と、わが国の社会保障・社会福祉制度を理解する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 指定テキストとともに配付資料、視聴覚資料およびパワーポイントによる講義を行っている。国家試験出題範囲のみならず、ひとりの生活者として社会保障・社会福祉制度に関心を寄せるような講義内容を展開している。
④ 本学における業務との関連性 社会福祉専門職から必要と考える多職種連携教育に関する指導能力向上を目指したいと考えている。
(3)その他の教育活動

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 論文
② 著書 『基礎から学ぶ社会福祉③ 高齢者福祉 【第3版】』(共著) 担当第10章「人生の最終段階における支援」182～196頁、2018年4月、ミネルヴァ書房 『新版 保健医療サービス』(共著) 担当第9章「地域包括ケアシステムと在宅医療」2020年2月出版予定、学文社 『実践「THE 家族会議」子どものより良い成長を育む Q&A』(共著) 担当「コラム 生活力という贈りもの」2020年3月出版予定、晃洋書房
③ 学会報告等
④ その他の公表実績 「依存症回復施設 福井 ARC(Addiction Rehabilitation Center)開設後の利用状況調査」(調査グループ 大森晶夫、橋本直子、長谷川小眞子、木村多佳子、田中悠二、川口めぐみ、田中孝典、木崎アンディー) 福井県精神保健福祉協会『ふくいこころの華』vol.38、11～14頁、2017年2月 「六花つれづれ」(単著) 実践記録研究会編『実践記録第46集』72頁、2017年3月 「改めて考える『対話』というもの—傾聴ボランティア講座を振り返って—」(単著) 実践記録研究会編『実践記録第48集』14-15頁、2019年3月
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動
学会での役職など
学会・分科会の開催運営
(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加 「実践記録研究会」、2017年度以前～現在 報告「実習スーパービジョンから考える『本人の自己決定の尊重』と近況報告」実践記録研究会、2017年2月 「ソーシャルワーク実習演習研究会」、2019年度 模擬演習「演習でのアイスブレイク紹介」第5回ソーシャルワーク実習演習研究会、2020年1月11日
② その活動による成果 「実践記録第46集」の発行、2017年3月 「実践記録第47集」の発行、2018年3月 「実践記録第48集」の発行、2019年3月
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
科学研究費助成事業平成31(2019)年度基盤研究(C)(一般)課題番号:19K02045 研究課題「少人数で就業する職種の労働環境と職能団体の機能に関する研究」 研究代表者:吉村臨兵 研究分担者:木村多佳子 補助事業期間:2019年度～2022年度
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 福井県営住宅指定管理者外部評価委員会委員、県営住宅の指定管理者の外部評価、2017年度以前～現在 全国健康保険協会福井支部評議会評議員、福井支部の業務に関して適正な運営を行うための評議会への出席、2018年11月1日～現在
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加 特定非営利活動法人 福井 ARC、依存症回復支援施設の運営事務、2017年度以前～現在
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥ その他 一般社団法人 福井県社会福祉士会理事、2017年度以前～2019年6月、生涯研修委員長、2017年度以前～2019年6月 月例サロン「ファシリテーター講座」講師、2018年4月21日 福井県医療ソーシャルワーカー協会理事(副会長)、2019年度 「基礎研修会」講師、2019年5月19日 一般社団法人 福井県介護支援専門員協会 福井県主任介護支援専門員研修講師、2017年度以前～2019年度(2017年12月28日、2019年1月10日、2019年12月26日) 社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会 永平寺町ボランティアセンター 「ボランティアリーダー研修会」講師、2017年9月1日 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 アクティブ・シニア養成講座「傾聴ボランティア養成講座」講師、2018年1月19日、20日 アクティブ・シニア養成講座「傾聴ボランティア養成講座修了者への情報交換サロン」講師、 2017年11月12日、18日 「高齢者生活支援リーダー養成講座」講師、2017年12月9日、16日 「シニア世代のためのボランティア養成講座」、2018年度～2019年度(2018年9月20日、 2019年8月6日) 社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会「ボランティア研修会」講師、2018年3月15日 福井市地域包括ケア推進課 福井市地域包括支援センター主任ケアマネ研修会講師、2017年9 月21日、2018年9月14日 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会 生活困難者総合相談・生活支援事業担当者養成研 修講師、2017年度～2018年度(2018年2月1日、2019年3月18日) 社会福祉法人 福井県聴覚障がい者協会 福井県手話通訳者養成講座【手話通訳Ⅰ】講師、2019 年10月16日
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講 平成29年度後期公開講座「一歩先の社会福祉学へ」第4回「多職種連携におけるファシリテ ーションとリフレクション」、2017年10月14日
② 社会人・高校生向けの講座 出張講義「社会福祉学を学ぼうー『自分らしく生きる』を支える仕事と学問」、福井県立美方高

等学校、2017年11月1日 講義「社会福祉学を学ぼう—『自分らしく生きる』を支える仕事と学問」、福井県立羽水高等学校、2019年7月11日
③ その他
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
福井 ARC を支援する会運営会員（福井にアディクション回復施設をつくるための活動）、2017年度以前～現在

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動
学生支援委員会 障害学生支援部会委員、2019年度
(3)学内行事への参加
平成29年度 県内高校訪問入試説明会、福井県立羽水高等学校、2017年7月10日 新入生オリエンテーション合宿担当、2018年4月14日～15日 平成30年度 県内高校訪問入試説明会、福井県立羽水高等学校、2018年7月6日、敦賀気比高等学校、2018年7月13日 令和元年度 県内高校訪問入試説明会、福井商業高等学校、2019年9月26日
(4)その他、自発的活動など
国試支援委員会、国家試験対策講座の運営、2017年度以前～2018年度 公大協社会福祉系部会企画運営担当、2017年度～2018年度 日本ソーシャルワーク教育学校連盟・近畿ブロック 学科担当者、社会福祉士養成教育の動向に関する情報収集と学科教員への情報発信、2017年度以前～2019年度 キャリアセンター・就職担当、2019年度